

# 計画の目標と取り組み

## 目的

被保険者自身が「健康増進」「罹患予防」に取り組むことを目指し、生活習慣病の発症及び重症化を予防する

## 健康課題

- 一人当たり医療費(入院外)の「糖尿病」が県よりも高い
- 特定健康診査受診率は県を上回っているが、国の目標値には達していない
- メタボリックシンドローム該当者やメタボリックシンドローム予備群が増加している
- 特定健康診査の結果から、血糖値の「保健指導対象値」の割合が高い
- 質問項目の状況で「運動習慣なし」「体重増加」「3食以外の間食や甘い飲み物(毎日)」の項目が県よりも高い

## 目標を達成するための戦略

計画全体の目標

- 目標① 生活習慣病の重症化を予防する
- 目標② メタボリックシンドローム該当者割合が減少する
- 目標③ メタボリックシンドローム予備群割合が減少する
- 目標④ 若年層から健康意識を高める

目標達成のための  
事業実施

計画の評価を毎年行い  
次年度事業に反映する

進捗確認  
中間評価

実施する事業	内容
特定健康診査事業	被保険者の健康状態を把握し、生活習慣病の早期発見と予防につなげる
特定保健指導事業	生活習慣改善を促し、生活習慣病を予防するため、利用率向上を図る
糖尿病性腎症重症化予防事業 (受診勧奨・治療中断者の受診勧奨)	糖尿病性腎症のリスクの高い者に対して適切な情報提供、受診勧奨を行うことで腎不全、人工透析への移行を予防する
糖尿病性腎症重症化予防事業 (保健指導)	糖尿病性腎症のリスクの高い者に対して適切な情報提供、保健指導を行うことで腎不全、人工透析への移行を予防する
生活習慣改善指導 (血糖・血圧該当者)	糖尿病の発症を予防し、早期からの生活習慣改善につなげる
高血糖相談	糖尿病の発症を予防し、早期からの生活習慣改善につなげる
生活習慣病重症化予防 (医療受診勧奨)	健診の結果により受診が必要な場合は生活習慣病重症化及び合併症を予防するため早期の受診を促す
がん検診	がんを早期発見し適切な治療を行うことでがんによる死亡を減少させる
健康づくり・インセンティブ	生活習慣病予防に関する知識を普及することで健康づくりに対する意識の高揚を図り、自ら健康づくりに取り組むきっかけを作る
歯科保健事業	歯牙・歯周病の予防・早期発見により重症化を予防する
脳ドック検診(受診勧奨)	脳血管疾患を早期発見し、適切な予防・治療を行うことで脳血管疾患の発症の減少を目指す
医療費適正化後発医薬品使用促進	対象者に後発医薬品に切り替えた場合に削減できる自己負担額の通知を送付することにより、医療費の適正化を図る
医療費適正化重複・多剤投与	重複・多剤投与となっている者に対し、リーフレットを送付・訪問指導の実施。健康状態や生活状況を把握するとともに、健康相談や適正受診の指導を行う

# 飛島村

## 第3期国民健康保険データヘルス計画 第4期特定健康診査等実施計画

令和6年度～令和11年度



## 計画の背景と目的

本村では、「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)など国の方針を受け、平成30年度に「飛島村第2期国民健康保険データヘルス計画」を策定し、効果的かつ効率的な保健事業の実施による健康課題の解決と被保険者の健康増進に取り組んできました。

また、「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した特定健康診査及び特定保健指導の実施方法に関する基本的な事項、並びにその成果に係る目標について定められており、平成30年度に「飛島村第3期特定健康診査等実施計画」を策定し推進してきました。

「飛島村第2期国民健康保険データヘルス計画」「飛島村第3期特定健康診査等実施計画」は、令和5年度末に計画期間を終了することから、今までの保健事業の取り組み状況と本村国民健康保険を取り巻く現状を踏まえ、「飛島村第3期国民健康保険データヘルス計画」「飛島村第4期特定健康診査等実施計画」を策定します。

## 計画の位置づけ

「飛島村第3期国民健康保険データヘルス計画」「飛島村第4期特定健康診査等実施計画」は、村の総合計画を上位計画とし、健康増進計画、介護保険事業計画等実施計画に加え、愛知県、後期高齢者医療広域連合による関連計画との調和を図ります。

## 計画の期間

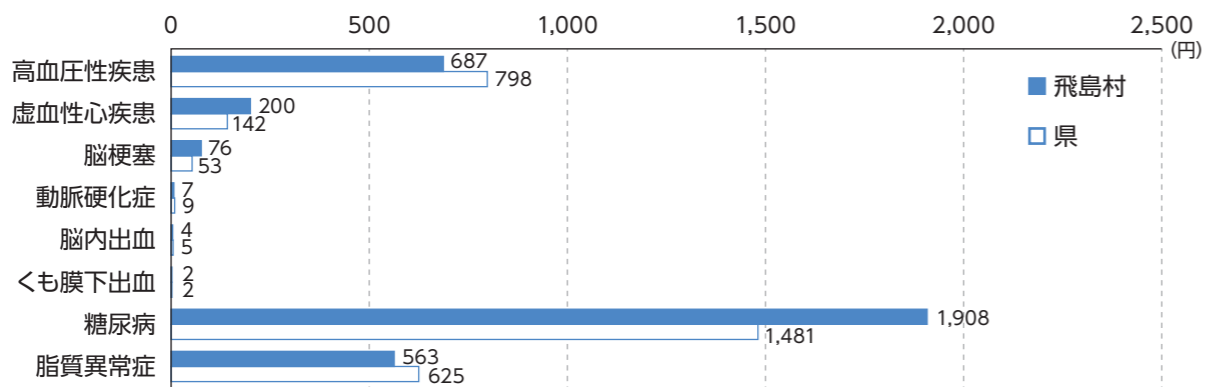
計画の期間は「飛島村第3期国民健康保険データヘルス計画」「飛島村第4期特定健康診査等実施計画」ともに一体的に推進していくことから、令和6年度から令和11年度までの6年間とします。

# 飛島村の現状

## 医療費の状況

令和4年度

疾病分類別一人当たり医療費(入院外)

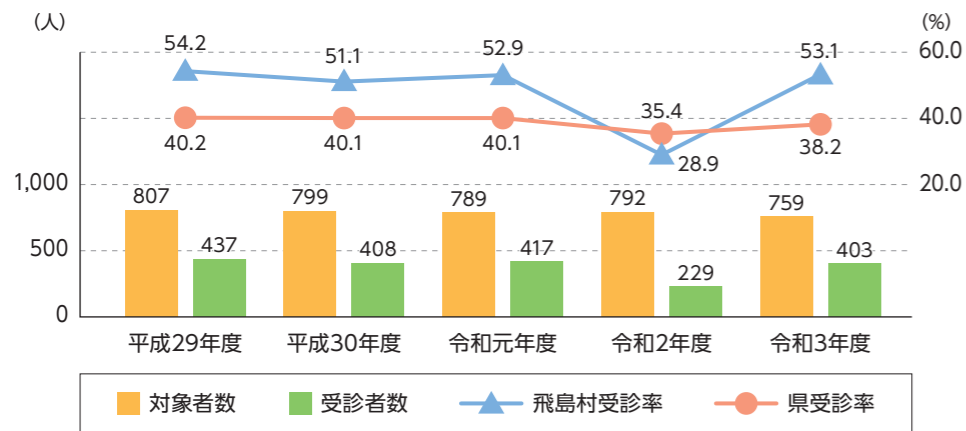


「糖尿病」「高血圧」「脂質異常症」の順に高く、そのうち、「糖尿病」が県より高い状況です。

出典:KDB(疾病別医療費分析(中分類))

## 特定健康診査・特定保健指導の状況

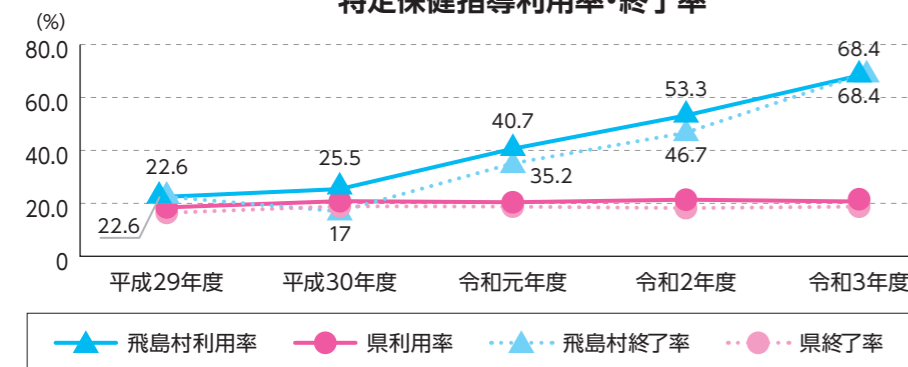
特定健康診査受診者数・受診率の推移



令和2年度が県より低い状況ですが、平成29年度、平成30年度、令和元年度、令和3年度が、県より高い状況でした。

出典:法定報告

特定保健指導利用率・終了率



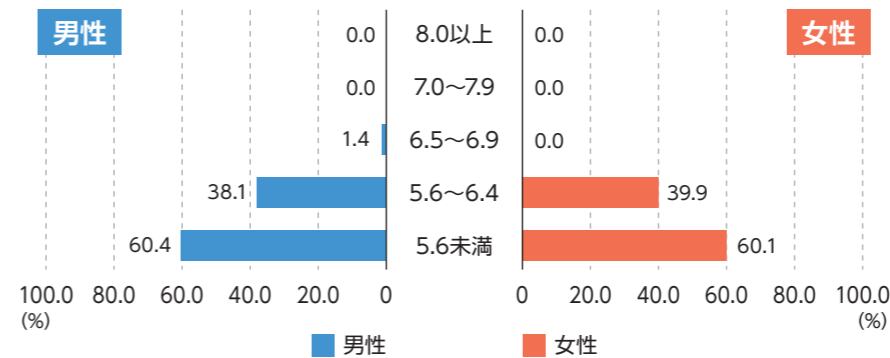
「利用率」「終了率」とともに、経年的に県より高い状況です。令和3年度は目標の60%を超える利用率、終了率となっています。

※数値は飛島村のみ記載 出典:法定報告

## 特定健康診査での血糖値の分析

令和4年度

HbA1c区分別該当者数(治療なし)

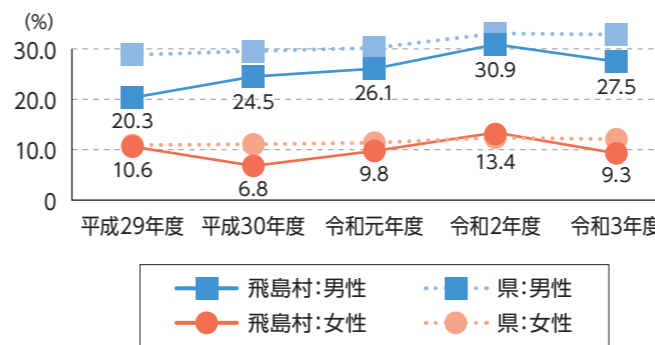


特定健康診査受診者で「糖尿病の治療なし」のうち、HbA1cの測定値が医療機関の受診が必要な6.5%以上の方は男性1.4%、女性0%でした。また、保健指導対象値である5.6~6.4%の方は男性38.1%、女性39.9%でした。

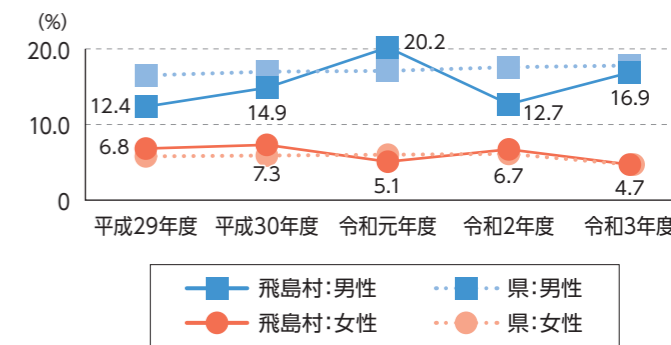
出典:KDB(介入支援対象者一覧(栄養・重症化予防等))

## メタボリックシンドローム該当者・予備群の分析

メタボリックシンドローム該当者の推移



メタボリックシンドローム予備群の推移



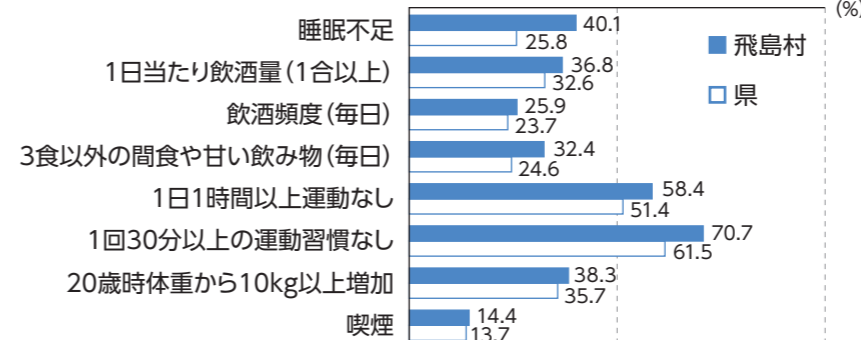
男性の「メタボ該当者割合」は、経年的に増加傾向がみられます。女性の「メタボ該当者割合」は、平成29年度から増減しながら令和3年度に減少しています。

メタボリックシンドローム予備群の割合は平成29年度から減少しながら、令和3年度には男性は増加、女性は減少しています。

※数値は飛島村のみ記載 出典:法定報告

## 質問項目の状況

令和4年度



「睡眠不足」「1日当たり飲酒量(1合以上)」「飲酒頻度(毎日)」「3食以外の間食や甘い飲み物(毎日)」「1日1時間以上運動なし」「1回30分以上の運動習慣なし」「20歳時体重から10kg以上増加」「喫煙」が、県より高い状況です。

出典:KDB(質問票調査の状況)一部抜粋